

森山通信

VOL.5

平成24年第2回定例会において、一般質問を行いました。

◆防災について◆ 千葉駅周辺の帰宅困難者対策について

質問：公共交通機関との連絡体制の構築は？

答弁：各事業所に、帰宅困難者対策を担当する窓口ができます。一般電話、電子メール、携帯電話、地域防災無線、衛星電話などを活用し公共交通機関と連絡がとれる体制を検討しています。

質問：帰宅困難者の発生を抑制するには？

答弁：「むやみに移動を開始しない」という帰宅困難者対策の基本原則を千葉駅周辺協議会参加事業者において平時から周知します。また、「学校や企業、事業所等へ留まること」や「二次災害に巻き込まれないこと」などの広報を報道協定に基づき「ケーブルネットワーク千葉」「千葉テレビ」「ベイFM」に要請するほか、新聞、報道機関へもお願いしてまいります。

質問：帰宅困難者を受け入れる一時滞在施設の確保の進捗状況は？

答弁：現在、千葉駅周辺で市の有する公共施設を一時滞在施設に指定する予定です。また、民間商業施設や宿泊施設についても、指定に向けて協議を進めてまいります。

質問：徒歩帰宅者の支援については、どのような対応をするのか

答弁：平成17年に9都県市として、コンビニエンスストア各社と協定を締結したのを皮切りに、その後、ファミリーレストランやカラオケ店などとも締結し、水道水・トイレ・情報・休憩場所を提供してもらうなどの対策を進めています。

◆介護について◆

質問：介護中マークの普及について伺います。



答弁：「介護中」であることを示すマークは、介護中であることを、周囲の方に理解していただく為に、有効であると考えております。ホームページやポスターなどにより普及啓発を図って参ります。

要望：「介護は家族がするもの」から「社会としても支える」ということを広めなければならないと思います。そういうことから周囲に知らせる「介護中マーク」は全国統一デザインであるべきと考えます。

質問：介護人材確保策、ユニットリーダーの養成について、ユニットリーダーを養成する研修施設を市内に設置する取組みをすべきではないか？

答弁：現在、研修を行っている、日本ユニットケア推進センターの指定を受けた施設は市内にありませんが、今後、研修を受ける施設職員の負担の軽減が図られるよう、市内施設の指定について、老人福祉施設協議会などと協議してまいります。

◆芝生化について◆

質問：保育所での芝生化についての取組みの見解は？



答弁：今後、先進事例の研究をはじめ、芝生化により子どもたちの外遊びの多様化が、どう図られるかなど子どもの成育

への影響、さらには芝生の特徴や維持費などの調査を行い、本年度中に所庭の一部を利用してモデル的に実施し、十分検証し、芝生の導入について検討して参ります。

これからも皆様の声をカタチにすべく、全力で頑張っております！

市政に関するご意見・ご要望をおきかせください。

森山かずひろ

TEL：043-245-5483 FAX：043-245-5584